



かわはた

< 目次 >

- 【 表誌 】 P1

- 【 新型コロナウイルス感染症と地域医療について 】 副院長 大庭 敬
- 【 研修医紹介 】 済生会横浜市東部病院 水野 将徳 P2

- 【 コロナ禍における薬局の役割について 】 薬剤師 渡辺 葉月 P3

- 【 永年勤続表彰 】 P4、5

- 【 緩和ケア委員会
緩和ケアにおけるMSWの役割 】 医療ソーシャルワーカー 櫻井 公大 .. P6

- 【 新任医師紹介 】 副院長 渡辺 浩志 P7

- 【 診療予定表 】 P7



当院 敷地内の花々

新型コロナウイルス感染症と地域医療について

新型コロナウイルス感染が蔓延してから2年半が過ぎました。2021年夏には、福島県においても第5波の感染拡大で1日の陽性者が200人を越え、病床使用率が89.3%に達しました。その中でワクチン接種が始まりましたがブレークスルー感染が増えており、現在は4回目接種が進んでいます。多くの方が不安な日々を過ごされていると思います。



副院長 大庭 敬

今回医療の立場から一番の反省点は、感染症に携わる専門家が少ないことです。かつて人類はさまざまな感染症と戦ってきたわけですが、抗生物質やワクチンの開発で感染症は制御できると思い込んでしまい今回のような新しい感染症に対する準備が出来ていなかったのです。科学は常に謙虚な姿勢で臨むことが大切です。今、当院では発熱外来を設けて一般の方と動線を分けてPCR検査を実施しています。また入院患者さん全員にPCR検査を行っていますが、ご家族の面会制限もあり皆さんに大変なご負担をおかけしています。院内感染の為に診療中止が起これば地域医療の崩壊になることを予防する試みですのでご理解願います。

治療薬については注射薬の他に複数の内服薬も使用できるようになり、徐々に感染をコントロールできるようになっています。しかし収束にはまだ数年かかる見通しです。今回は感染症のパンデミックでしたが東北は地震災害もあります。3月16日には震度6強の地震が起これば中通り、浜通りでは家屋崩壊、水道、電気のインフラ破壊があり、また東北新幹線も被害を受けて長期間の不通が起きています。災害に伴い医療の危機も起こってきます。川俣では済生会病院が中心となって危機を脱していく役割があると思います。これからも謙虚な姿勢で臨んでいく所存です。

～専攻医の紹介～

今年度4月より、6か月間の総合診療科（地域医療）を学ぶため、済生会横浜市東部病院より研修にいらして専攻医をご紹介します。



【水野 将徳（みずのまさのり）】

私は地域医療を志し、16年間小児医療に従事してきました。2年前から総合診療医として内科領域の研鑽を積んできました。そして高齢者医療の難しさ、すなわち、教科書通りの医療を理論的に進めても患者さん含めてご家族全体の幸せに直結しないこと、多職種による包括的ケアが患者さんの人生の終焉の質に直結すること、を痛感しました。このため、病院以外でも患者さんの包括的ケアを濃厚に研修できるシステムを持つ川俣地域ケアセンターで経験を積みたいと思い、川俣病院を研修の場を選びました。6か月の短い期間ではありますが、宜しくお願い致します。

趣味：ゴルフ
好きな食べ物：ラーメン
嫌いな食べ物：筍

～抱負～

この半年間でこれまでの内科研修で経験できなかった皮膚科、整形外科、泌尿器科などの知識を身に付け、診療の幅を広げていきたいと思っています。また、老健や在宅での研修を通じて地域医療を理解し、患者さんを包括的に評価できる力を身に付けたいと思っています。

コロナ禍における薬局の役割について

薬剤師 渡辺葉月

日々のニュースでも耳にするように、コロナウイルスによる感染が止まらない今日。当院でも日々、コロナ感染の患者さんの入院や、外来での発熱対応に当たっているのが現状です。その中で当院薬局では主に3つの業務を行っています。



1. コロナワクチンの払い出し

現在当院で保存されているワクチンは、**ファイザー（成人・小児用）**、**モデルナ** の2種類です。ファイザー製は院内、町内5ヵ所の医療機関に、モデルナ製は川俣町保健センター（集団接種）及び、春日診療所に払い出しています。

薬局ではワクチンの数（接種人数）に合わせて、接種用のシリンジ、針、希釈用の生理食塩水など必要なものを準備して渡しています。また、ロット番号や使用期限、温度管理にも留意しています。

2. 発熱外来の患者対応

発熱外来で薬剤を交付する患者さんの人数は少し増えたように思います。薬局では、薬剤を調剤し、患者さんの元へ行き、薬の説明をしてお渡しします。

検査の結果、陽性であった場合は手袋、フェイスシールド、N95マスク等を着用して対応します。



3. コロナ治療薬について

コロナ治療薬は「ゼビュディ」「ロナプリーブ」「パキロビッドパック」「ベクルリー」「ラゲブリオ」などがあります。

軽度から中等度の症状の際に使用するケースがほとんどです。

～コロナ治療薬の特徴～

SARS-CoV-2 治療薬の現在

薬品名	対象
ロナプリーブ点滴静注セット1332	SARS-CoV-2感染による重症化リスク因子を有し、酸素投与を要しない患者。成人及び12歳以上かつ40kg以上の小児
ベクルリー点滴静注用100mg	SARS-CoV-2による肺炎を有する患者。成人、12歳以上かつ40kg以上の小児
ラゲブリオカプセル200mg	SARS-CoV-2感染による重症化リスク因子を有する患者等。18歳以上
ゼビュディ点滴静注液500mg	SARS-CoV-2感染による重症化リスク因子を有し、酸素投与を要しない患者。成人、12歳以上かつ体重40kg以上の小児
パキロビッドパック	SARS-CoV-2感染による重症化リスク因子を有する患者等。成人、12歳以上かつ40kg以上の小児

最新のパキロビッドパックは薬剤2成分を含む合剤ですが、降圧剤、催眠薬、抗不整脈薬等汎用される薬剤との飲み合わせが良くないケースが多いです。また、中等度の腎障害のある方は錠剤を減らす必要もあります。今後、用いられるとすれば、注射または他の薬との併用可能で使いやすい薬剤になるのかもしれませんが。

近々、コロナ治療薬の新薬の登場や、ワクチンの4回目接種等が実施されていくでしょう。まだまだ、感染対策には気を抜けない状況ですが今後の動きに注目して、早く終息することを願うばかりです。

【 永年勤続表彰 】

令和3年度、永年勤続表彰を受けました10名に感想を頂きましたので、ご紹介いたします。



～勤続20年～

日々業務に追われ、慌ただしく過ぎていく中でありましたが、皆様の支えがあり、今充実した活動の場を与えられ感謝しております。これからも、患者さんと関わりながら看護に携わっていきたいと思います。

3階病棟 看護師 菅野よう子

この度は永年勤続表彰を頂きありがとうございます。
早いもので私が勤務するようになり20年が過ぎようとしています。当初は20年後の事などは全くと言ってよいほど想像していませんでした。本当に時間のたつのは早いものだと痛感しています。ここまで無事に働くことができたのも周囲の皆様の支えがあったことだと感謝しております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

4階病棟 看護師 佐久間昭子

この度、勤続20年の表彰を頂き、ありがとうございます。
職員の方々・家族の支えがあったお陰だと思えます。
まだまだコロナ禍ではありますがこれからも患者さんに寄り添えるケアに努めたいです。

4階病棟 看護助手 佐藤 弘美

この度、勤続20年を迎えることが出来た事に感謝致します。
勤続10年表彰時の時は、平成23年3月11日東日本大震災の直後でした。それから、更に10年がたち、昨年からは新型コロナ感染拡大が起きてます。
1日も早く終息し、元の生活に戻れる様に願う日々です。

外来 看護助手 佐藤 起美子

働き始めて20年。
色々ありましたが、ここまで勤められたのは沢山の方に支えていただいたおかげだと思っています。その感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張っていきたいと思えます。

3階病棟 看護助手 穴戸 幸子



～勤続10年～

入職当時はパートの半日勤務で、とても緊張していたことを思い出します。今日まで沢山の皆様に見守っていただき、緩和ケア認定看護師として新たな活動の場をいただいていることに心から感謝致します。

3階病棟 緩和ケア認定看護師 菅野ひとみ

この度、永年勤続にて表彰していただき、ありがとうございました。院長をはじめ、スタッフの皆様を支えられて仕事を続ける事ができたと感謝しております。これからも頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

4階病棟 看護師 齋藤和子

入職当時、私は大学を卒業したばかりで不安と緊張の日々を過ごしていたことが思い起こされます。そんな私がこれまで勤めてこられたのは、多くの方の教えや支えがあったからだ感謝しております。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

地域連携室 医療ソーシャルワーカー 櫻井公大

済生会に勤務して10年が経過しました。ここまで勤めてこれたのは、ご指導いただき支えてくださって周りの皆さんがいてくれたおかげだと心から感謝しています。これからも感謝の気持ちを忘れず精一杯勤めていこうと思います。

総務人事課 主事 田中央樹

10年を迎えて今思うことは、東日本大震災からコロナ禍の今、大変な事もたくさんの方々に支えられこれまでやってこれた事に感謝します。これからも宜しくお願いします。

3階病棟 看護助手 嶋原香織

病院内の職員の皆さんはじめ、ケアセンター内の職員の皆さん、また近隣のサービス事業所の方々と、多くの方々に支えられてきた10年間だと改めて感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます！！

専門職としてどれだけの成果を残せたのか…、10年の節目を良い機会として自身を振り返り、今後も皆さんと協力しながらより充実したお仕事をしていきたいと思ひます。

川俣居宅介護支援事業所 所長 大久保 可奈子

永年勤続10年表彰を頂き、時の経つ早さを感じています。現在は訪問看護で仕事をさせて頂き始めて、6年目に入りましたが、慢心せず日々精進していきたいと思ひます。

川俣訪問看護ステーション 作業療法士 渡邊友樹

永年勤続表彰おめでとうございます

緩和ケアにおけるMSWの役割

医療ソーシャルワーカー 櫻井公大

病院には**MSW(医療ソーシャルワーカー 以下、MSW)**という相談援助の専門職が配置されているのをご存じですか？

MSWは、院内外の専門職種と連携しながら、患者さんやその家族が不安なく療養を続けられるようにサポートする役割を担っています。ここでは、そんなMSWが緩和ケアにおいて担っている役割を少しだけご紹介したいと思います。

MSWが緩和ケアに関わる相談内容としては、患者さんやその家族の心理的サポート、在宅療養の際の介護保険サービスや医療サービスの整備、緩和ケアを目的とした転院や施設入所支援などがあげられます。緩和ケアが提供されるタイミングは一定ではなく、診断時の病気の受け止めや心理的苦痛をサポートすることや終末期の疼痛管理など、対象者によって内容や目的が変わってきます。そのため、相談支援の場面においても、患者一人ひとりの病状や希望、家庭環境に合わせて社会資源や福祉制度に結び付けていくことが必要となります。

その中でも、終末期の療養先についての相談は、どのように最期を迎えたいかという意思に直結する重要なものです。療養場所としては、在宅や施設、医療機関に大別されますがMSWは、医師や看護師、リハビリテーション担当職員からの情報をもとに患者さんやその家族と面談を行い、病状やADL、家庭環境を考慮しながら希望にあった療養場所が選択できるように支援しています。

中には、介護保険や医療保険サービスのサポートを受け、住み慣れた家で親しい家族と一緒に過ごしながら自宅で最期を迎えられた方もいます。本人の「最期まで家に居たい」という気持ちを実現することは、本人だけでなく、看取った家族の充実感につながるということを実感しています。

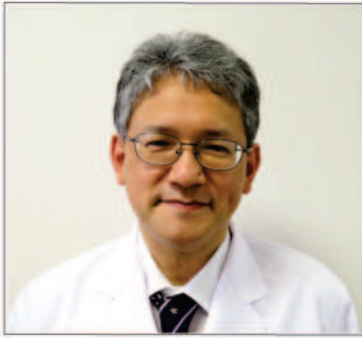
一方で、最期まで自宅や施設で看取るという方法だけでなく、病状の変化によっては医療機関の方が身体的苦痛を軽減して過ごすことができる場合もあることを踏まえながら、最終的な看取りの場を柔軟に検討できるよう支援しています。

その他にも、緩和ケアにおいてMSWが果たすべき役割は多岐に渡りますが、何より大切なのは患者さんを中心としたチーム医療を展開する事です。これからも、当院では院内外の多職種の方との連携を深めながら、患者さん一人ひとりのニーズを一つでも多く実現できるよう努めてまいります。



令和4年7月～

川俣病院 副院長
山木屋診療所 所長



氏名：渡辺 浩志（わたなべひろし）

出身：福島県福島市

略歴：福島県立医科大学医学部卒 同大学院修了

専門：リウマチ専門医、総合内科専門医、消化器病専門医
臨床研修指導医

趣味：読書

座右の銘：『質実剛健』

ひとこと：宜しくお願いいたします



外来診療予定表

令和4年7月1日より

		受付時間	月	火	水	木	金	土	
内科	午前	一診	8:45~11:30	佐々木俊教	数田 良宏	佐々木俊教	大庭 敬	大庭 敬	大庭 敬 佐々木俊教 数田 良宏 (交代制)
		二診	8:45~11:30	角田理恵子	君島 弘子	渡辺 浩志	君島 弘子	第1・3・5 佐久間博史 第2・4 君島 弘子	佐久間博史 渡辺 浩志 (交代制)
		三診	8:45~11:30					福島医大 大平 弘正 (不定期 予約)	
		循環器	8:45~11:30		福島医大				済生会福島 山口 修 第2
	リウマチ	第1	8:45~11:30						福島医大
		第2~5	8:45~11:30					福島医大	
		糖尿病 外来	8:45~11:30				済生会福島 本間美優樹 第1・3		
午後	一診	13:00~15:30	渡辺 浩志	福島医大	数田 良宏	佐久間博史	君島 弘子		
	リウマチ	13:00~15:30					福島医大		
外科	午前	8:45~11:30		福島医大	芳賀 志郎		済生会福島		
	午後	13:00~16:00		福島医大					
整形外科	午前	8:45~11:00	福島医大		福島医大 第1・3・5			福島医大	
泌尿科	午後	13:00~16:00	山中 直人 診察 14:30~				山中 直人 診察 14:30~		
眼科	午前	8:45~10:30				福島医大 (予約)		福島医大 第4 (予約)	
	午後	13:00~15:00			福島医大 (予約)				
皮膚科	午後	13:00~15:30		福島医大 (予約)					

※7月1日より外来診療が変更となります

やさしさといたわりのある医療

開かれた地域医療のための病院



済生会川俣地域ケアセンター



済生会川俣病院

電話：024-566-2323

ホームページ <http://www.kawamata.saiseikai.or.jp/>

済生会春日診療所	電話 024-566-2707
川俣町国民健康保険山木屋診療所（指定管理）	電話 024-563-2024
介護老人保健施設 めがみ	電話 024-566-2661
特別養護老人ホーム はなづか	電話 024-566-2661
養護老人ホーム 済生会川俣光風園	電話 024-566-3221
済生会川俣光風園訪問介護事業所	電話 024-538-0035
済生会川俣訪問看護ステーション	電話 024-566-2323
済生会かわまた居宅介護支援事業所	電話 024-566-2657
川俣地域包括支援センター	電話 024-538-2600
済生会川俣病院指定訪問リハビリテーション	電話 024-566-2323